

ぶんかのみ



## ぶんかのみ vol.14

のやま・まなこ 割谷市出身。愛知県立芸術大学日本画専攻卒業。劇作家北村想氏主宰の劇団彗星'86（のちにプロジェクト・ナビ）に入団。以来、北村作品の音楽と音響を担当。1995劇団退団と同時に「マナコ・プロジェクト」を結成。様々な分野で作曲、編曲、音響デザイナーとして活躍。2006年度第22回名古屋市芸術創造賞受賞。

HP:<http://www.akamana.com> ノノヤマ マナコ氏



## 独学で学んだ音の世界を多彩に描く

刈谷市制65周年記念公演 市民劇「はるかにつながる空の下」で音響担当のノノヤママナコさんにお話を伺いました。

音響家の師匠である藤田赤目氏の名前にちなんで同じ『目』を表す『マナコ（眼）』という名前にされたそうです。舞台音楽作曲家という演劇専門の音楽の作曲や、音響効果の仕事を中心に活動される傍ら、アニメやドラマCDの音楽にも携わっています。

■絵の世界から演劇に転向した理由は？ 「大学で日本画を専攻していたので、舞台美術やチラシのデザインをしてみたいと思い劇団の門を叩きました。しかし『音響なら空きがあるが…』と言われてしまいました。それでも演劇の世界に馴染みたかったので、全く知識の無いところから、独学で劇伴音楽の作曲を学んでいきました。実は、楽器も、譜面を読むことも、未だに自信がありません。」

■創作のスタイルは？ 「稽古を観ながら曲を考えていく人が多いですが、私は脚本を読んだ時点で全ての音楽を決めていくスタイルです。音響の仕事としての効果音作りも行っています。例えば、ドアを閉める音ひとつとっても、その音で役者の感情に合わせた心理描写をし、芝居に合わせた材質のドアの音をその都度録音して作ります。」

■音楽の仕事をしていく上で、将来の目標は？ 「今するべきことをひとつずつ精いっぱいやっていきたい。」お話を聞き、今まで触れたことのない未知の世界に挑戦してみたくなりました。

[担当:近藤、野村、井野]

■詳細は、文化工房かりやのブログ [<http://bkkariya.wordpress.com/>] で！

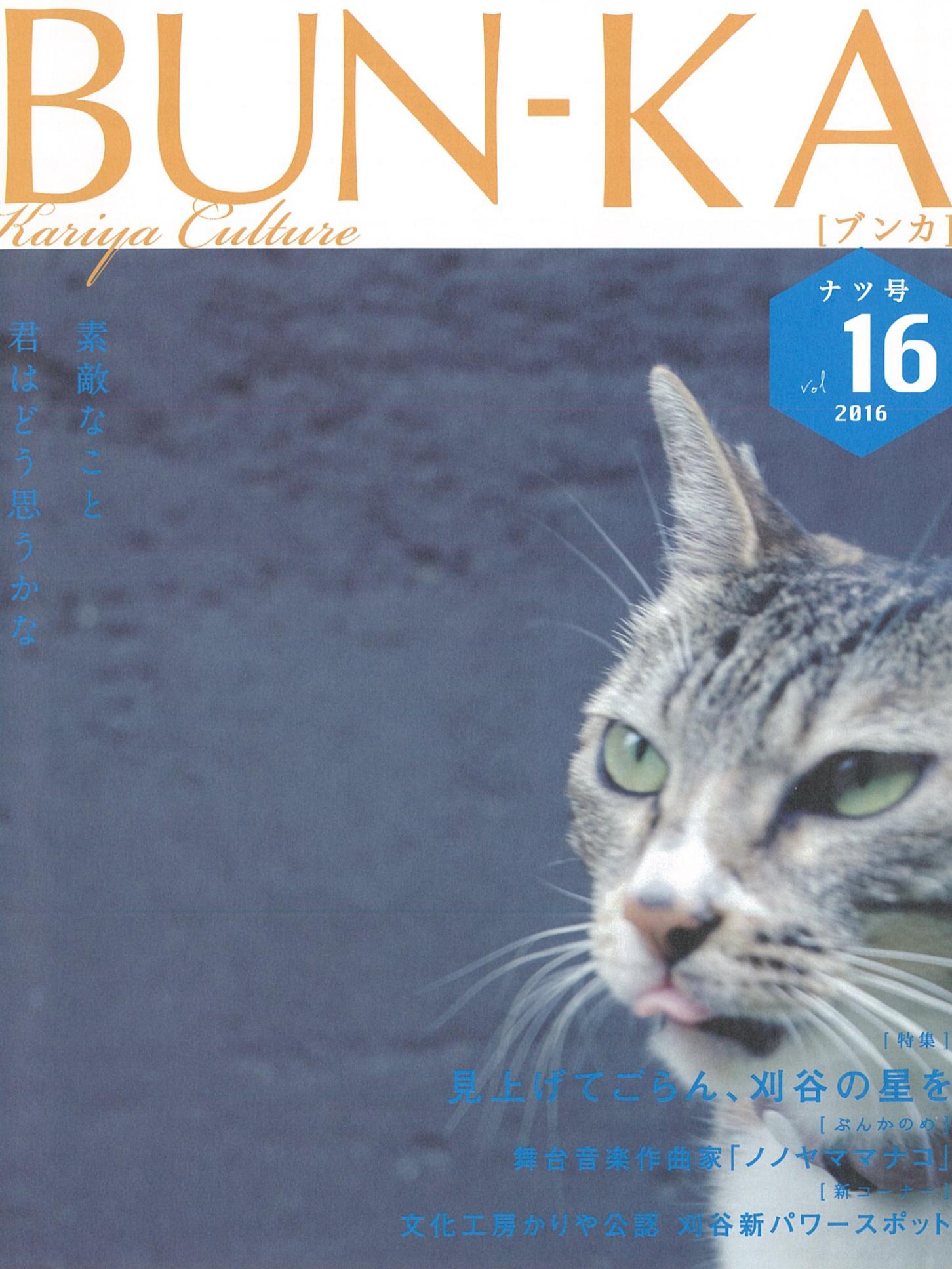
# BUN-KA

Kariya Culture [ブンカ]

ナツ号

16  
2016

君はどう思  
うかな  
素敵なこと

[特集]  
見上げてごらん、刈谷の星を

[ぶんかのみ]

舞台音楽作曲家「ノノヤママナコ」

[新コーナー]

文化工房かりや公認 刈谷新パワースポット

市民目線の“キキミミ”文化

文化工房かりや  
カリチャー俱楽部

第3・4水曜日  
午後4時から  
1時間放送

Pitch FMラジオ番組  
Pitch FM83.8

83.8MHz

文化工房 カリヤ 公認刈谷の  
新パワースポット  
VOL.1



境川浄化センター周辺  
刈谷市衣崎町

刈谷市を流れる主要3河川、境川、逢妻川、猿渡川がここで出会い、衣浦湾に注ぎ込む場所。そして、傍らのデルタ地帯では巨大施設「境川浄化センター」が365日24時間休むことなく稼働しています。流域の下水道と接続されていて、下水から汚れを取り除き数10種類以上の微生物の力を借りて水を浄化し、自然に還しています。私たちの生活に必要不可欠なインフラです。この地はまさに水の流れとともににある”浄化のパワースポット”。私達も日々の生活の中で溜まった”心の汚れ”をこの堤防から海に向かって吐き出してみませんか？「いつも××してごめんなさい」「○○を××したの私です」とか…。

誰も聞いていません。川岸で餌をついばむ鳥も聞こえないふりをしてくれます。心の底から叫んだあとはすっきりすると思います。ここは浄化のパワースポットだから。

[担当:磯村]

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

# 文化工房 カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104

TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440

mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp

Twitter:@B\_K\_kariya

Facebook:bunkakouboukariya

Blog:[bkkariya.wordpress.com](http://bkkariya.wordpress.com)



FREE

文化工房 カリヤ

# 見上げてごらん、刈谷の星を



## 観望会に行ってきました!

「夢と学びの科学体験館」の観望会は、大きなドームを開けたスペースから望遠鏡を覗くことができます。木星とガリレオ衛星がちょうど一直線に、きれいに並んで見えて素敵でした。観望会は、月に1度のペースで開催されているそうです。季節によっても見える惑星は替わり、土星の輪つかがきれいに見えると皆さん感動されるそうです。

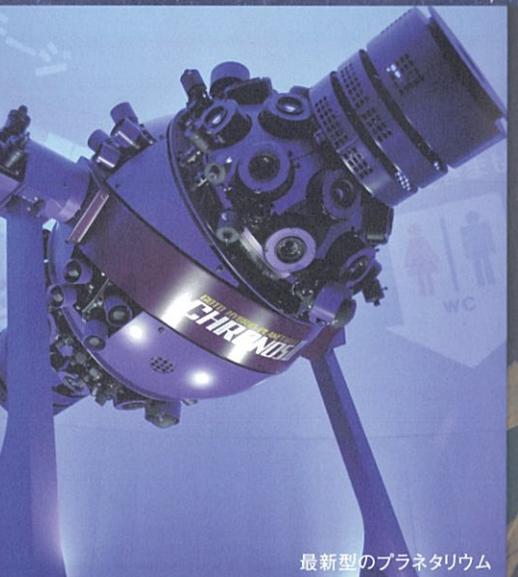
・詳しくは天文爱好者会CORE HP  
<http://auecore.web.fc2.com/>

「愛知教育大学」では、星の事をさらに知りたい方に、一般の方が参加できる天文ミニ講座もあります。スライドで解

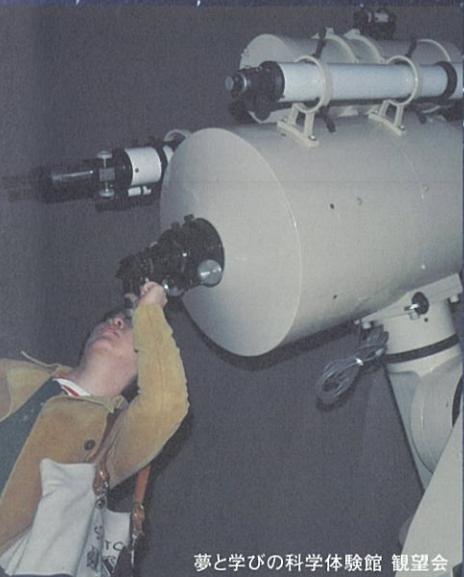
りやすく解説してくれてクイズ形式の問題もあつたり…。  
知っていました? 望遠鏡から見た星の光や動きを解析(計算)して「ここに惑星があるはず」と仮説を立て、広大な宇宙の中から新しい星を見つけてしまう! 凄すぎる天文学者達のことを。

講座の後は6.0cm反射望遠鏡で星を見たり宇宙の3D映像も楽しめます。天文マニアにはお薦めのイベントです。

・詳しくは愛知教育大学天文台HP  
<http://phyas.aichi-edu.ac.jp/~takahasi/AUE60Tel/index.html>



最新型のプラネタリウム



夢と学びの科学体験館 観望会

夜空を見上げると、星が輝いています。七夕に東の空を見上げて、ひと際明るく輝く星、こと座の Vega 「織姫星」とわし座のアルタイル「彦星」が、天の川を挟んで年に一度だけ会うことを許されたという、ロマンチックな物語を思い浮かべます。最近は、街の明かりが増し、満天の星空を見る機会がなくなってきたように思います。刈谷の夜空もそうなのか…探ってみることにしました。

田村さん:「オーストラリアに行った時にファームステイといって現地の農場で1泊しました。星がすっごく見えて、闇というか地球上に1人ポツンといふいう感じを体験し、星を見ることが楽しかったです。

そのような状況を再現できるのがプラネタリウムだと思いますので、実際に星空を見に行くきっかけにしていただけたんですね。」

## 夢と学びの科学体験館の プラネタリウムの特徴

以前は光学式プラネタリウムのみでしたが、リニューアル後はハイブリット・プラネタリウムになり、臨場感あふれる宇宙を体験ができるようになっていました。

今年の4月から、月曜日の投映をはじめました。午前は幼児向けの番組で、少しくらいならお話しでもよい時間です。特に第4月曜日は生解説で実施しています。また、午後にも一般投映をはじめています。

一般投映のプログラムも、季節ごとに内容が変わるので、詳しくはホームページをご覧下さい。



写真左から 田村さん、柴田さん

## 取材を終えて

刈谷では満天の星を見るのは少し難しかったですが、プラネタリウムで疑似体験ができました。望遠鏡を覗いて見る星は本当に綺麗でした。今年の七夕は、星を見ながら短冊に願いを書いてみようかな…。

[担当:野村、近藤、神谷、手塚、井野、磯部]



## 夢と学びの科学体験館

刈谷市神田町1丁目39番地3  
電話:0566-24-0311

## 感動した星空

「夢と学びの科学体験館」に勤務してみえる指導主事の柴田先生と天文指導員の田村さんお二人に、今まで見た星空で印象に残ったところを伺ってみました。

柴田先生:「西表島に行った時、山の中で天の川を見ました。周りに何もなく真っ暗で、天の川の星たちの光で自分の影が映る程強く輝いて見えました。愛知県内では鳳来寺や東栄町など、山の方へ行かないと天の川は見えませんね。」

これまでの経験から生まれた教訓がある。『リハーサルで出来ない事は、本番でも出来ない』アールマルシェスタッフは公演の約一週間前に最終打ち合わせをする。ここでは公演日の担当決めや必要な備品、設営～公演～撤収までの流れとその回限りの注意事項などを確認する。準備万端だ!このままならば上手いくはず……だが出演者から当日急に注文が入る事がある。これをリハーサルで対応しきれないまま本番を迎えたり、これ以外にスタッフが思いついたことを本番に行ったりすると、その箇所は失敗しやすくなる。全体の流れが悪くなる。当然と言えば当然だ。もし似たような場面を何度か経験していれば何とかなるかもしれないが、私たちはまだその域に達していない。経験を積んで対応できるようになれば、いつかこの教訓は要らなくなるはずだ。だが、それまではスタッフ間で合言葉のように唱え続けるのである。 [担当:柴田]

Bunka Kōpō Kariya  
刈谷市総合文化センター アトリウム イベント  
artMarché アールマルシェ

これからの  
公演  
スケジュール

- ♪N°24 平成28年7月16日(土) 13:00~14:00  
【出演】ハワイアンアイズ＆カ・レイ・ブア・メリア(ハワイアン音楽&フラ)／プレシャス ゴスペルクワイア  
♪N°25 平成28年9月17日(土) 時間未定  
【出演】ハロー☆(ダンス)／下村祐輝(チエロ)



※公演内容の詳細や公演の様子は  
ブログ、SNSをご覧ください。

## 「教訓」 ちょっと裏話 その7